

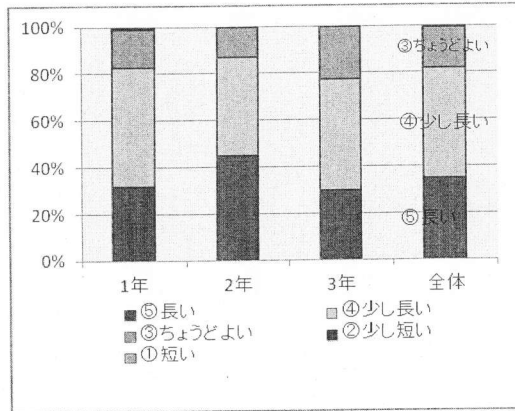
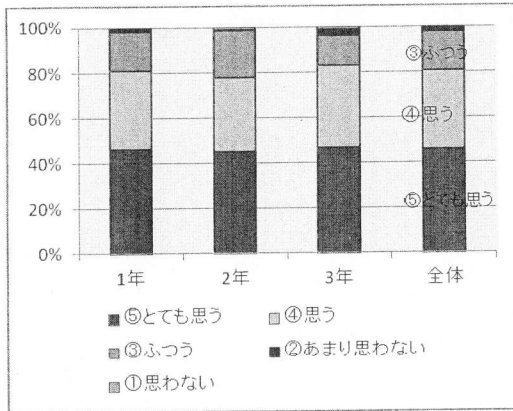
防災講演会アンケート結果

生徒アンケート 787人集計

(2012年12月10日実施)

1 今回の講演は自分のためになったか
全体の80%が「とても思う」または「思う」と答えた。

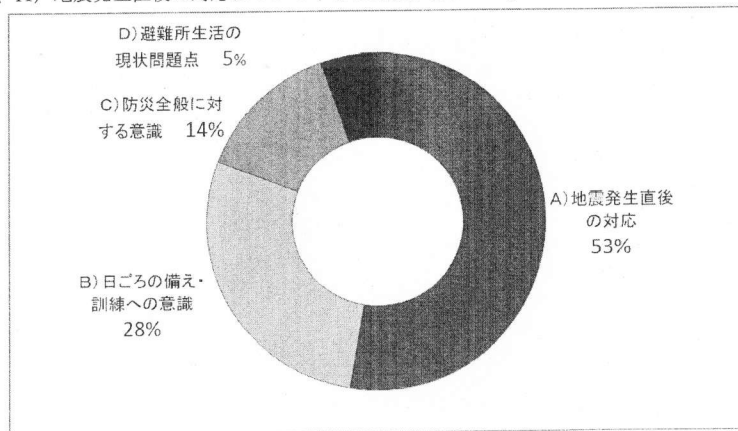
2 講演の長さについて
全体の82%が「長い」または「少し長い」と答えた。



3 講演の要点

各自が箇条書きでまとめたものを、A) 地震発生直後の対応、B) 日ごろの備え・訓練の意識、C) 防災全般に対する意識、D) 避難所生活の現状や問題点 の4つに分類した。

結果、A) 地震発生直後の対応について学んだ生徒が多かった。



A) 地震発生直後の対応

項目	%	総合順位
頭を守ることは、意識を失わないためである	41%	1
自分の命は自分で守る (自分の安全を第一に考える)	37%	2
隠れる場所を探す、揺れの間は声を出す、周りをよく見る	35%	4
平常心 (冷静に次の行動へ移るために自分を見失わない)	10%	1 1
生きる (とくにかく生き延びる)、よく生きる、より良く生きる (けがをしない)	7%	
とにかく高台へ逃げる	7%	

B) 日ごろの備え・訓練の意識

防災訓練への意識向上 (訓練にやりすぎはない、価値ある無駄)	36%	3
備えの必要性 (起震車体験、逃げるための体力、食料や水の備蓄、情報など)	29%	5
避難場所の確認 (家族との約束、ルート確認、登下校時も含む)	21%	6
想像力 (シュミレーション) が減災につながる	13%	9
重いものは2階におかない (家具が人を殺す)	13%	9
防災知識の必要性 (無知や無関心の怖さ、正しく恐れる)	10%	1 1

C) 防災全般に対する意識

いつ、どこで起きてもおかしくない (安全な場所はない) という危機感	20%	7
災害に関心をもつことの重要性	16%	8
過去の記録や他者の経験に学び、自身も後世に伝承すること	8%	

D) 避難所生活の現状や問題点

トイレのことを考える (衛生面の管理)	7%	
気配り、目配り、心配りをする (ボランティア活動と治安の維持)	6%	

【総括】

今回の防災講演について、生徒の80%が有意義であったと答え、地震直後にとるべき行動や日ごろからの避難訓練や備蓄品などの見直しを図ることなど防災意識の向上が見られた。

今後の課題として、登下校時の経路も含め避難場所を想定したい、避難訓練をより実践的に行いたいという意見が多かった。特に、訓練には、起震車体験、逃げるための体力、情報の収集が必要であると考えているようである。また、避難所生活の現状や問題点を初めて知った生徒が多かった。

なお、講演時間を長く感じたのは、講演内容や実時間よりも寒さによる部分が大きかったと思われるので、講演の実施時期を検討してゆくことが必要である。

話を聴く中で、どのようなことを感じ、考えましたか。
また、今後どうしていきたいと思えますか。

一番印象的だったのは、「声をあげる」です。
たまたま（←びっくりして、パニック状態）がなくて、一緒にいる人同士で
「どうしようか」とか「大丈夫か？」と声をかけあって、何かあったら、
どうにかするの！ とかあって、みんなが「大丈夫だから！絶対大丈夫だから！」
と叫んでた。（1年女子）

私は毎日家族の事を思って「俺は即行に行けな！ 命の危険を冒せ」と声が出ていたと
おぼろげに感じた。
お盆の日に地震が来た時に逃げ遅れた避難場所を教えることには、お盆に
（1年女子）

小・中学校のときは、「すかにかくれなさい」と先生に言われていたの。
かかれるときに声を出さずと書いてびっくりしました。
下宿をしていて避難場所の確認ができていないので（1年女子）
確認をしたいと思います。

私は自転車通学で通学時間を30~40分かかるので、その間に
地震と津波がきたら、そのポイントポイントで避難したらいいの
を、確認しておきたいと思っています。（1年女子）

私は、東日本大震災の時に横浜にいたんで地震が来た時はとても
びっくりした。毎日予震が続いてこわかったです。
なので、南海大地震にそなえるために、その軽馬舎を活かして、
いつ来てもいいように対策をしたいと思います。（1年女子）

危めになったと思う。でも声出しとかしてたらパニックになる人も
いると思うが大丈夫だろうか。（1年男子）

自分が今までに知っている知識は、全く知らない
と同じくらいで、災害が起きた時に大変なことになる。（1年男子）

大きな地震が来たら、エレベーターに浮いたり、サイロの中に入ったりとか、
自分も宙に浮くかもしれない。知らなかったこともたくさんある。
これから、今地震が来たらどうするかを、常に考えていたい。（1年男子）

たとえ逃げて助かったとしても、ケガをしていたり、それが重症だった
場合、手当てが遅れたり、医者が少なくて、助からない場合があるので、
逃げる際にケガをしてはいけない。
そのために、日々の防災対策を万全にし、地震に備えるよう、心がまえ
をしておく必要があると感じました。（1年女子）

地震についての知識は、聞いても実際にどうしていいかわからず、
言っていたので、機会があれば、実際に体験してみたい。実際のとき
にはどう行動できるか、今後はできるか、二階から物をのけたら
いい。（1年男子）

自分が避難しているところは真上に
机があるので、寝る位置を考えた
1年女子

今日聞いて感じたのは、避難場所ということ、避難場所には
月経用品を必要にするように持っていくこと。
自分の家から、避難場所は近いですか、そういうことを
（1年男子）

やはり普段から食料など必要なものは備えておくべきだと思
また、食料だけでなく、避難場所までを常に考えることも大切だと思
そして、訓練もしておかないと、いざという時に絶対役に立つと思
防災訓練なども参加したいと思
今日聞いたことを家族にも教えてあげたい。（1年女子）

家に帰って、おに避難の準備を確認をしたり
避難場所の確認をしたいと思います。（1年女子）

高知西高校 防災講話についての 生徒の感想

南海大地震は、自分の予想して、あるか、後の地震か
来るかわからないので、取っ手なし、必要な物は用意して、
地震にそなえておくことが、一番の防災であることが
わかりました。（1年男子）

とても怖かったし、考えたくもなかった。（1年女子）
生き残りたいと思うけど、自分だけが生き残るのには嫌だ。

土居さんの話を聞いて、お盆の日に
自宅から学校までの距離は、とても長いので、通学中に
地震がきたら、と思うと、とても不安です。
汽車に乗っているときはどうなるのか、ちゃんと調べてお
（1年女子）

東日本大震災で、私の母の両親が大変なことをしました。その時、私は
思いました。母の前から私は、決していなくなりたいように、自分は自分を
守るために、していかないと、なりたい、多くのことを、この二週間、
学びました。（1年女子）

今日の講演を聞いて、今後の防災に対する意識が変わ
ました。例えば地震が来た時に、今までの頭をかくよう
に、机の下に潜り、声を出し、回り回ると、足元から避難
する場所、これもわかり、とても良かったです。なので、これから
今日学んだことを生かして、避難したいと思
（1年男子）

誰かと一緒に居ると、相手を助けたいけれど、まず自分の命を守らないといけないと思
でも、いざ地震が来ると一緒に助けたいと思、自分のことを忘れてしま
私の家は2階に重いものがたくさん置かれているので、上を軽くしないといけないと思
（1年女子）

感想 2

地震が来ると確定しているにもかかわらず、絶対に地震への意識を薄くしたくないと思うので、地震が来ると意識を常に持ていなくては大丈夫だと思います。また、感想としては、自分だけが助かることを考えるとか、助けを求めたり、助けを待たないで、緊急時なだけに、非情に徹してはならない人だと思いました。改めて、もっと自分の地震への関心を高めたいと思います。(1年男子)

自分が考えていたよりも、津波の到達の速さが速かった。(2年女子)

地震が来たらどうするかというのも大事なことで、それまでにどのくらいの情報を集め、どう備えておくかがすごく大事なななと思いました。(2年女子)

震災で生き残った人は、自分の家族、地域、生き残った経験が語り継がれるというのを、言葉に重みを感じました。(1年男子)

地震には、勝って生かされる。自分の存在は、自分の中だけでなく他人の中にも生きているという言葉、とても共感した。(2年男子)

まずは、自分の身を守ることが最優先。自分の家族にも、他人を助けてあげる。まずは逃げるように伝える。身の中に生活用品を積み込んでおいて、というのを知って、本当に防災するとならざるを得ないのかなと思いました。(3年女子)

話が聞き取りやすかった。災害は今起してもおかしくないことを意識し、地震をパニックにならず対処できるようにしたいと思う。共同で使用するための設備は使用方法を定めなければならないと思った。(1年男子)

地震がおけたらとにかく生かす。→1つおぼえ(1つ)に準備しておく。(2年女子)

具体的な数字や土居先生の東日本大震災での経験などを聞くなかで、今までで聞いた講演の中で一番現実味を感じた。もう一度地震に対する考えを変えなければと思った。(3年男子)

災害について話しを聞くたびに、準備をしないといけないと思うけど、実際、まだ準備をしていないので、必ずしないといけないと思った。先日、東北や関東の方で地震があったとき、チャットで家族で話し合っただけで逃げるところまで決められた。災害では精神的にも不安になるので心配です。(1年女子)

AEDを使うようにすると思った。(2年女子)

被災した時にこそ、助け合っていきたいなと思った。そういう時に人間性が出ると思った。(2年男子)

やはり、地震の怖いところはやはり未知の怖いところだと思うから、自分達が対策以外の方法は無いと思う。いくら、こうしなさいといけなさいと分かっていても実践してないし、本当に地震が来た時に対応できないと思う。だから、まずは家で「出よう」として、例えば「家具などを金具で固定する」とか、なるべく重たいものを2階に置かないとか、出来事から始めていっていいと思います。今日の講演で「悲しい」と思ったのが「そういう地震被害の被害が起った時に物を盗む人がいる」ということです。その対策として、耐震着の目配り、気配り、1階配り、大切ということが分かりました。(1年女子)

いつか地震が来るとは分かっているけど、いつか、いつか、と思ってはいたけど、今は絶対に対応できたいと思った。いざ地震が来てもいいように準備することが必要で、頭を守ることも大切で、自分の命は自分で守りたい。今日から考えてみようと思った。(2年女子)

「ひびくくわん、よくきくけど、それより前にするべき大事な事がある。分かった。そして、心当たりが来るとして、家や身の回りももう一度かかておきたいと思いました。(1年女子)

とてもためになったし、今までこわかったのがさらにこわくなった。同時に「受けとめる」ということを書いて、私はよく何事からも逃げてしまう性格のため、地震も含め、普段の生活であって受けとめることを学ばれました。家での備えから考えたいと思います。(3年女子)

講師の先生が、「いつも家を出るとき奥の人に「一人で逃げよう」と言っているというのを聞いて、やはり防災に対する意識が高いなと思いました。また、そのことから、毎日家に無事に帰って来るとは、あたりまえじゃないなと思いました。東日本大震災でなくなった方、家をなくした方は、昨日まであたりまえに帰っていた家に帰れなくなりましたということです。今ある「あたりまえ」をもっと大事に、自分を、家族を災害から守れるようにしたいです。(1年女子)

東日本大震災の被害が大きい。テレビなんかで状態を見るたびに思うけど、高知県の被害はそれ以上のものがある。と、思っているのは、本質的に恐ろしいこと。いざとなったら生かすのが不安なこと、そのためにもっと知識を深めたい。(2年女子)

土居さんが家を建てる時に、必ず毎日東さんに
"もし地震が起きたら一人で逃げろよ"と念をおしてあげたこと
を、本当にいつおきるかわからなくて、いつ自分の家族にそんな
なってしまうのかと物からないことを実感しました。(3年女子)

今回の講演会で第1に自分の命を守ることの大切さを学びました
自分は春から一人暮らしをするので、しっかり自分の身を守りたいと
思いました。(3年女子)

汚物の写真がすごくやだだったので、自分家には水と、
簡易トイレを用意して、おまきやほぶろしたと、自分たちの
ものは自分たちで準備しときたいと思いました。後、家族が
別々なときの連絡とかについても、どこに逃げるかなども、
話し合いたいと思いました。(3年女子)

すごいリアルな内容の講演会でした。避難所にはプライバシーがない、
食料もトイレ、逃げた人が助からなかった、現実的で、
準備する必要があると強く感じました。(3年女子)

私が地域の防災訓練に参加し、別の方の講演を聞いたものやを比
べて、「正しく恐れる」という点が同じであり、これは大切ななあと思
いました。精神面、行動面など、教わることは多く、様々な方の講
演を合わせてより自分にならなくていいものだと感じました。
まずは、自分の命を救うためにも、家の中の物を見直し、家族で
話し合っていきたいと思います。(3年女子)

地域をまきこんで防災訓練を行っていかないと
いけないと思いました。
普段は西高の中で防災訓練を行うことが多いので、
近隣の保育園、幼小、中とも一緒にやっていくのは体制
がわりが必要ではなんでしょうか。(3年女子)

今回の講演を聞いて、一番に思っていることは、
"知っていることで、できることはちがう"ということだ
知っているから、できることをとらえてくると、(1)ということも、
うごけないうちにと感じました。
実践する大切さを学びました。(3年女子)

感想 3

土曜日からいよいよ起った。東日本沿岸の地震の時、僕は家でゴロゴロして、
テレビをつけて地震が来たら、津波の注意を聞いていました。その時、大丈夫かなと軌道
を聞いていたけど、話を聞いて、自分にも、災害が来るかわからないから、さっさと
逃げよう。(3年男子)

私の次のスラップは大学で看護を学びます。
災害看護に興味をもっていたので、とても今日の講演はた
りなりました。やはり興味、関心を抱いていても、行動に
移すことができてなかったの、これを機会にしていきます。(3年女子)

自分たちが報道などで聞いて、想像する以上に現場には悲惨なことが知らぬ
心あり、体験した人々に聞くなどして関心を抱いていく必要があると思った。
(3年男子)

しっかりと災害に対して関心を持ち、周囲の人と話し合いをしておくことが
大切なのだと感じた。災害時に、生き残る役に立つような人であるため
に知識と技術を身につけたらと思う。(3年女子)

まずは、自分の意識の低さを実感しました。私も人と一緒に逃げようとか
思っていた所もあって、まずは自分が生きるといことが大切だと気がきました。
"どこで地震がおきるのか、それは通学時かもしれない"と言われ、気がされました。
私も通学時におきた時、またそれ以外の時どこに逃げればいいのか、考え
調べ、知っておくと思いました。また、避難所等のトイレがとても汚いのに驚きました。
考えれば当たり前ですが、水もないので、皆でトイレを決めることが、どんなに一人一人の
気持ちにかかわるかも気づかされました。
(3年女子)